

友の会

友の会講演会 (大阪)

会場●国立民族学博物館
第5セミナー室
定員●96名 (当日先着順、会員証を
ご提示ください)

第380回 2月6日(土)

時間●14:00~15:30(13:30開場)
ガンディーの大英帝国
講師 杉本良男(民族社会研究部教授)

第381回 3月6日(土)

時間●14:00~15:30(13:30開場)
アジアにとってのアジア
講師 田村克己(民族社会研究部教授)
アジアとは、何を意味しているの
でしょうか。民博のアジアに関する展示も、
いくつかの地域に分かれており、文化的
に一括りにできるものではありません。
アジアにおけるフィールドワークの経験から、
アジアに住む人々がアジアをどのように捉
えているのか、そして私たち日本人にとつ
てのアジアとは何か、アジアが実態のある
ものなのか。こういったことを一緒に考
えたいと思います。

東京講演会

会場●JICA地球ひろば
第91回—セミナールーム202
第92回—セミナールーム301
定員●40名(申込制、下記「友の会」まで)

第91回 2月28日(日)

時間●14:00~15:30(13:30開場)
先住民の現在を読み解く(2)
先住民としての「権利」獲得とその後
講師 松山利夫(民族文化研究部教授)

第92回 4月10日(土)

時間●14:00~15:30(13:30開場)
文化人類学に生きる
一館長就任1周年を迎えて—
講師 須藤健一(館長)

国立民族学博物館友の会

電話 06-6877-8893
ファックス 06-6878-3716
電話でのお問い合わせは
月曜~金曜日9時から17時までをお願いします。
<http://www.senri-f.or.jp/>
E-mail
minpakutomo@senri-f.or.jp

ミュージアム・ショップ

ミュージアム・ショップでも 「西アジア再発見」

「春のみんぱくフォーラム2010年
西アジア再発見」に関連して、中央・
西アジアで暮らしを営む遊牧民たち
が生み出した、色・素材・デザインと
も個性あふれる織物の数かずを集



めました。

伝統的な毛織物「キリム」を再利用し、
現代風にアレンジしたポーチから、移
動に最適な保管袋「チュバル」まで、民
博のショップならではのお買い物
をお楽しみいただけます。3月まで開催
される多彩な「再発見」イベントにご
参加の際は、ぜひお立ち寄りください。

「キリム」を再利用したポーチ
(1,890円~)約80年前の保管袋
「チュバル」(52,500円)など

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
ファックス 06-6876-0875
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
<http://www.senri-f.or.jp/shop/>
E-mail shop@senri-f.or.jp

みんぱくゼミナール

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13:30~15:00 (13:00開場)
定員 450名 (当日先着順)
参加費 無料

展示場をご覧になる方は、観覧料が必要
です。

第381回 2月20日(土)

あたらしいアフリカ展示のメッセージ
講師 竹沢尚一郎(民族文化研究部教授)ほか
30年前に誕生した民博のアフリカ展
示が、2009年3月、はじめて全面的
に改修されました。アフリカを知らない
人が見ても、アフリカ理解の手がかり
を得られる、そんな展示にしたい。
アフリカ展示チームは、そのような思
いで展示作りに励んできました。「展
示ができるまで」の熱い議論を、少し
だけ紹介します。



第382回 3月20日(土)

トンガの王様と民主主義

講師 須藤健一(館長)
王権・貴族制と民主主義・代表民主
制とが並存するオセアニアで唯一の
王国、トンガ。9世紀に系譜をたど
る王家が社会経済的特権を独占して
いますが、国王は国民からあつく敬
まわれています。この王国で起きている
民主化運動をとらえて、21世紀の島
嶼世界に生きる人びとの生活戦略を
みていきます。



刊行物紹介

■岸上伸啓 編著

『開発と先住民』 みんぱく実践人類学シリーズ7

明石書店 定価:6,720円(税込)

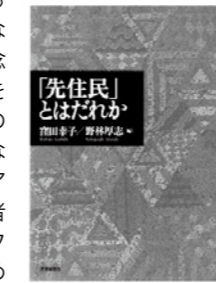
世界各地の先住民は、国家や企業、NGOによる
開発活動からどのような影響を受けているのか。
また、彼ら自身はどのような開発活動を展開して
いるのか。本書は、世界各地における先住民に関係
する開発の様相を紹介。



■窪田幸子・野林厚志 編

『「先住民」とはだれか』 世界思想社 定価:4,095円(税込)

20世紀の終わりになっ
て、広く使われるようにな
った「先住民」という概念
にこだわり、歴史的経緯を
検討した上で、これまでの
先住民の議論の中心とな
ってきたオーストラリア
などの移民国家の少数者
だけでなく、アジア、アフ
リカ、そして日本をふくめ
た「新しい」先住民にも対
象を広げ、その多様性を同
じアリーナで議論し、現
代社会の少数者との関係性
のあり方に迫る。



実施日 二月七日(日)

絵本読み聞かせ「絵本で旅する
詩の国イラン」

会場 本館一階エントランス
※申込不要。参加は無料です。

「じゅうたんをつくるうー」
実施日 三月二七日(土)までの
火・木・土・日・祝日
時間 一一時~一二時
一三時~一六時

会場 本館一階エントランス
観覧料 無料

春のみんぱくフォーラム
二〇一〇年西アジア再発見
大村次郎写真展「西アジア、
折りの風景」
会期 三月三〇日(火)まで
場所 本館一階エントランス
観覧料 無料

時間 一一時~一四時
会場 本館一階エントランス
※申込不要。参加は無料です。
以上二件のお問い合わせ
情報企画課情報企画係
電話 〇六六八七八一八五三
(平日九時~一七時)

◆研究公演
アラブ・アンダルシア宮廷音
楽の響り—「モロッコ」の花—
ミナ・アラウィの典雅な歌声
実施日 三月二二日(月)・振休
時間 一三時三〇分~一六時
(開場一三時)

会場 講堂
定員 四五〇名
参加費 無料
参加申し込み方法
往復はがきに住所・氏名(返信
用おてもにも)・年齢(任意)・
電話番号・参加人数(本人を含

◆入場講演会
ベリータンスが世界をゆらす
—音楽と舞踏のグローバル・
コミュニケーション
実施日 三月一九日(金)
時間 一八時三〇分~二〇時
三〇分(開場一七時三〇分)

お問い合わせ
広報企画室企画連携係
電話 〇六六八七八一八二〇
(平日九時~一七時)

会場 オールホール(大阪)
梅田毎日新聞社ビル地下二階
定員 四〇〇名(申し込み先着
順)・手話通訳あり

参加費 無料
参加申し込み方法
「公開講演会参加」と明記の上、
氏名・郵便番号・住所・電話
番号・今後の講演会などの案
内送付希望の有無を書いて、ハ
ガキ、FAX、メールにて左記
「研究協力係」までお申し込み
ください。
FAX 〇六六八七八一八四七九
E-mail: koenkai@idc.
ninpaku.ac.jp

「映像に見るイスラームの周縁」
若手人類学者の民族誌映画上
映会
実施日 二月三三日(土)
三月七日(日)
時間 一〇時五〇分~一六時
四〇分(開場一〇時三〇分)

お問い合わせ
広報企画室企画連携係
電話 〇六六八七八一八二〇九
(平日九時~一七時)

◆みんぱくフルタイム
「トルバン」
実施日 二月二七日(土)
時間 一三時三〇分~一六時
(開場一三時)

会場 講堂
定員 四五〇名(先着順)
参加費 無料
※当日一〇時より会場入口に
て整理券配付。
お問い合わせ
広報企画室企画連携係

「国際ワーカーショップ」
「広がる教育空間—子どもたち
のウェルビーイングから考える」
実施日 三月七日(日)
時間 一〇時~一七時(開場九
時三〇分)

電話 〇六六八七八一八二〇
(平日九時~一七時)

◆国際ワーカーショップ
「広がる教育空間—子どもたち
のウェルビーイングから考える」
実施日 三月六日(土)
時間 一三時~一七時(開場
一二時三〇分)

会場 講堂
定員 四五〇名(当日先着順)
参加費 無料

参加申し込み方法
「国際ワーカーショップ」と明記
の上氏名・電話番号・所属(任
意)を書いて、メールにて左記
までお申し込みください。
E-mail: suzunana-ken@idc.
ninpaku.ac.jp
以上二件のお問い合わせ
鈴木七美研究室
電話 〇六六八七八一八二九〇

◆音楽展示・言語展示を改修の
ため閉鎖しています
期間 三月三日(火)まで予定
*詳細については、みんぱく
ホームページをご覧ください。

電話 〇六六八七八一八二〇
(平日九時~一七時)